

# 京都教区時報

第205号

田中司教認可  
毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨  
 編集 京都教区時報編集室 住所 京都市中京区河原町三条上る河原町カトリック会館5F  
 カトリック京都教区ザビエルネット／アクセスNo.075-467-1676 ゲストID:GUEST  
 通信速度:1200-28800bps 通信条件:N,8,1,X,N 接続環境:単回線24時間

間もなくクリスマスがめぐつて来ます。クリスマスは「平和の君」の誕生だと降誕祭夜半のミサは語ります。「ひとりのみどりこがわしたちのために生まれた。その名は、「平和の君」と唱えられる。平和は絶えることがない。王国は正義と恵みの業によって今もそしてどこしえに、立てられ支えられる」(イザヤ9・5～6)。

平和の実現は、私達キリスト者の夢であり、祈りです。平和を祈りましょう。

**戦後五十年**

さて来年は、丁度大戦終了五十年にあたります。あの悲惨な第二次世界大戦を終えて五十年がたちました。私達司教団では、この戦後五十年という節目の年にあたって、胸を打ちながら真の平和を考え、祈り、その実現に向けて発言し、努力したいと思っています。

**政教の緊張の中で**

十一月十九日から三日間、社会司教委員会主催で、「社会問題研究会」が開かれました。内容は「諸宗教対話」を切り口に、政教分離を考え、憲法二十条から戦争を考える事でした。



## 平和の作り手

「平和を実現する人々は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる」(マタイ5・9)を深くかみしめ、平和の使者、平和の創始者である御子キリストと共に、私たちも平和の作り手、使者であるにはどうしたらよいか共に考え、祈り、実践する人となる決心を共に新たにしてみたいと思います。善意ある全ての人々に平和があります様に。

## クリスマスと新年にあたり 平和をつくる人は幸い

ライムンド 田中健一

### 平和を祈る

### 現代教会が求めるもの

い、という不文律の様なことがあります。それを押し進めた結果、「社会と教会」が遊離してしまったという事態が起こってしまいました。

他方、余りにも融合しすぎると宗教が国家権力のかなりとなってしまう危険もあるのです。そういう緊張の中で教会や宗教の歴史はゆらいできました。

でも現代世界憲章が私達と共に確認した様に「世界の中のあらゆる人間的な事がらで、キリストの弟子たちの心に反響を起さないものは一つもない」のですから。

政治、経済、文化、家庭、国際共同体の全ての問題に関わり発言し、世界平和のために努力しなければならないのは言うまでもありません。京都教区ビジョン(社会と共に歩む教会)、第一回NICE(社会に開かれた教会)も同じ福音の視点に立っています。私たちはもう一度改めて、現代世界憲章と諸文書、第一回NICE、教区ビジョンを見直してみる必要がある様に思えます。

キリスト者として世界の中にあって、真に福音に従つて生きるために、世界の中におこる全ての事柄、特に平和の問題を避けて通る事は出来ないと思います。

# バングラディッシュ印象記

結針灸整骨院院長・藤井正造

KYOSIAからの援助で、中国針研修生として派遣された、バングラディッシュの青年、トーマス・バルマ君が目下チッタゴンを中心医療活動を続けている事は、みな様の物心両面の御協力のお陰です。今年八月、この派遣の当初から親身になり、お世話を下さっている藤井先生が、現地の様子を視察し総括するため、わざわざチッタゴンまで時間をさいて行って下さいました。藤井先生は、中国での養成所紹介から始まり、トーマス君の研修中にはわざわざ中国まで様子を見に行つて下さっています。こうした先生のゆきとどいた熱心な力添えを、私達一同心から感謝申し上げます。

以下に藤井先生が当地の視察の模様を記された印象記の一部をここに掲載させて頂きます。

## \*少数民族出身のDr.トーマス

Dr.トーマスは週二回はバンダルバンという、チッタゴンから六十キロメートル離れた先住民・少数民族の居住する地域へ行き、

あとはチッタゴンで治療活動をして

いる。都市部には比較的医者はいるが農村部にはほとんどいない。

今回の私の訪問の目的は治療活動ではない。Dr.トーマスの治療活動のための技術的、精神的援助と

Dr.トーマスの北京より帰國以降一年半の現状を調査し、針灸プロジェクトについての総括をすることにあつた。Dr.トーマスのクリニックはチッタゴン初の針灸クリニック。首都ダッカにも針灸クリニックは二、三カ所あるだけらしい。針灸という治療法がほとんど知られていない地域だが、まずまず患者さんも来ておりチッタゴンに針灸が定着しつつある感じがした。

私が訪問したときは、日本から針医者が来たということで大挙して患者さんたちが来られ連日遅くまで治療が続いた。

クリニックは司教館から歩いて午前中二回、YWCAなど社会的活動をやっている場所への見学に参加した。他のメンバーは連日、見学・交流につとめていた。

## \*え！みんな胃が痛いの？

短い滞在中に診た患者に限つて言えば、喘息、胃潰瘍、及び胃痛、糖尿病、各種関節痛が多いという印象を受けた。すべて針で治療で

きた病気だ。脳血管障害（脳卒中）の後遺症の治療も多いが、これは日本の針灸で脳卒中を治療する機会が少ないだけの話だろう。

脳卒中のリハビリに針灸は非常に効果があるが日本では病院での治療にほとんどまかされ、針灸にはあまり患者が回つてこないのが現状である。喘息はチッタゴンの大気汚染が原因だろう。湿度の高いことも中医学的には影響していると

一分という至近距離。以後、午前中は技術的、精神的援助のための文書作成、特に前日治療した患者をどう扱えるかについてのレポートを作成。午後二時半頃からDr.トーマスへのレッスン、二時から九時頃までは具体的に治療を通じての技術指導というプログラムでの五日間となつた。

午前中二回、YWCAなど社会的活動をやっている場所への見学に参加した。他のメンバーは連日、見学・交流につとめていた。

日本ではいろいろな患者が訴えとともにいわゆる肩こりをいうのに似ている。バングラディッシュは肩こりの患者はほとんどいない。糖尿病について言えば、ダッカに行つたとき、国立糖尿病センターともいるべき名称のビルがあったのは驚いた。日本ならさしつづめ国立ガソセンターよりも立派な施設だ。

スパイシーなカレーの後は、甘い紅茶やお菓子、とにかく甘いものによく食べるという感じがした。中医学的に言えば、糖尿病は、蘊熱、熱の病気である。甘いもの、油っこいものの過食やストレスが熱と化しておこる病気と言われている。一年通じて暑い気候、高い湿度も化熱させやすい原因となつてゐるよう気がした。

例えば高カロリーの食品の過食は中医学では湿熱の邪となり易い



と言っている。湿と熱と比べた場合、日本では湿の比重が高く、熱の比重が低い場合が多いが、バングラディッシュはその逆という気がした(日本では熱を伴わない湿、寒湿も多いが)。熱が多ければ、肩こりは起きにくい。その代わり、頭痛、めまいがおきやすくなる。事実、バングラディッシュでは、頭痛、めまいが多い。脈は熱をあらわす数脈が多く湿を表す厚い舌苔は、日本の患者よりは見ることが少なかつた。化熱しているため苔がへっていると思われる。

バングラディッシュで好まれている嗜好品ビンロウは舌を赤く染色

し、舌を見るのに著しい障害となる。Drトーマスは、ビンロウを飲み込むのも胃潰瘍の一因ではないかと言っていたが、ビンロウには消極、降氣、つまりは胃の調子をよくする薬効もある。ただし、これは煎じた場合であって、直接生をかんで飲み込むのがどういう作用となるのかはわからない。

ビンロウは私もかんでもみたが覚醒感がして口の中にミントに似た香りが広がりスッとする感じだ。人によってはめまいを起こすと言っていた。今はタバコをやめているが、昔タバコを吸つたときの感覚に似ていた。

バングラディッシュでは金持ち、ないしは比較的の余裕のある人と、貧乏人は体型でわかる。クリニックに来ている中で、お金の払えない人はみんな瘦せていて。

Drトーマスはお金の払えない人は無料で

みている。下腹部のつき出したいわゆる肥満体の人たちは、街で見かけたりキシャの運転手たちは、みんな中肉中背か痩せている。彼らはほんとスラムから働きに来ているらしい。分かりやすい国だ。

糖尿病、神経症、あるいは中医

學でいう気うつ神経症的な症状は、

ほとんど女性に見られた。イスラムの国での女性の抑圧された状況を表しているのかもしれない。たゞ、気うつが女性に多いのは日本でも同じだけれど。

#### \*クリニックにいた不思議な青年

Drトーマスのクリニックに手伝いの青年がいた。最初は有給の助手かと思ったが、どうもそうではないらしい。では、彼は誰か。トーマスによると友人だと言う。

日本人の感覚からすると、ただの友人がここまで手伝ってくれるのは想像がつかない。彼は私のいる間中、クリニックにいて手伝つてくれただけではなく、Drトーマスの家に呼ばれたときもいて食事の準備も手伝い、給仕までしてくれた。

彼は英語ができず、私たち日本人はベンガル語ができない。直接話はできないが、よく手伝つてくれる。日本人の間ではどうも失業中ではないかという話に落ちついだ。それでは職業を聞くのも失礼だ。

治療の最終日になって、やつと謎が解けた。彼は休暇中の兵士だった。それでは職業を聞くのも失礼だ。

私たちには固い握手をして別れた。

## 第二十回正義と平和 全国会議へのご協力のお礼

京都教区の皆様の、熱い祈りとご協力と、熱意と献金に支えられ、第二十回正義と平和全国会議

を、大きな実りと、新しい活力を得て終えることができました。第4回全国会議が京都で開かれてから十六年ぶりのことです。全国から集つた皆様からは、大変ご好評をいただいております。これもひとえに皆様方のご尽力、ご協力の賜物と感謝いたしております。

また、「聖書と差別」のシンボジウムには、多くの地元の方の参加をいただき、ノートルダムの大ホールがいっぱいになりました。シンポジウムに参加してくれた方は、おそらく、聖書の読み方で今までとは少し違つてくるのではないかと思います。どんな視点で聖書を読むかによって、解釈が大きく変わるものではないかと思います。どうぞこれを機会に、正義と平和の視点からもう一度聖書を読んでみられたたらどうでしょうか。これを機会に正義と平和の活動が京都の地に根付くことを祈っています。

## 三重県カトリック信徒壮年大会に県下の壮年集う



三重県カトリック壮年大会（三重県信徒連絡協議会主催・指導司祭ジャクソン神父）が去る十月十六回を迎えた今回のテーマはNICE 2をうけ「家庭と壮年」で、名古屋教区平針教会主任司祭（神言会）の金子精治神父を講師に招き、基調講演と分科会、全体会で壮年信徒の役割について建前でなく本音で語り合った。金子神父の講和は『家庭と宣教』

（喜びの共同体・宣教共同体を目指して）であり、指して）である。しかし、その問題点を述べられ、司教団文書「ともに喜びをもつて生きよう」の真意を説明され私達に発想の転換（信仰のとらえ方の転換）の必要性について語られた。

（2）福音を生きる私達の信仰生活はどうあるべきか。  
1 福音とは「良い知らせ」であり「喜びの源」、「元気の源」でなければいけない。  
2 福音を生きるとは、神から来る喜びにあふれて生活することであり、回心して福音に生きることは心の位相を変えて、つまり、自分の価値判断基準を神様の物差しに変えて、そこから価値判断して、神様から喜ばれることを自分の喜びとして生きることである。

（3）福音とは……救いの喜びを伝えること。  
1 NICE 2後の司教団文書「家庭と宣教」についても話された。  
2 「家庭の教会」とは……家庭は最小単位の教会である。  
3 家庭は福音宣教の対象であるとともに、福音宣教の担い手となる共同体である。

（4）現代日本における家庭の実情はひどい状態であり、だからこそ福音宣教が必要である。

（4）教会、または家庭を愛と命の喜びの共同体、宣教共同体とするためには福音を解放・ゆるし・愛の喜びとして理解し、受け入れることが必要。

ある神に榮光を帰することである。よって、私達の福音的生き方とは神とともに喜びに方向づけられた生き方であり、そしてそこに希望と喜びを見付け出して生きることであると結論づけられた。

1 福音を福音として機能させていない現実がある。  
2 昔のカトリック教会の姿勢。  
3 家庭の喜びの共同体になるために「べき思考」を止め、「共有と共感」の生き方に変わらなければならない。

以上要旨を簡単に記した。司教団文書「家庭と宣教」とは一味違うお話を感銘を受けた。  
分科会では県下各教会から集つた壮年四十六名（外国人信徒二人を含む）は四つのグループに分かれ「家庭、教会、社会での壮年信徒の役割」について神父様の基調講演を基に和やかな雰囲気で有意義な語らいのひとときを持った。  
なお、最近は皆が休日の貴重な時にひとつに集まるのは非常に難しいなか、このように多くの壮年信徒が集うことができましたことは、壮年、夫々が自分の役割の大切さを思っての熱意が感じられ、二十一世紀に向け司祭の減少が避けられない三重県の将来の事を考え積極的な信徒の役割、何かしなければならないと考えている人が多くいることを知り、神様の計らいに感謝しつつ、皆が喜びをもつて鈴鹿教会を後にした。

成会報告 大津教会・四倉良

## 滋賀県青少年暑期練成



年夏期練成会も、今年で十九回を数えました。参加人数も二十一人と非常に少なかつたのですが、その分誰もがひとつの家族の様に考えたり、遊んだり、祈ったりすることができます。

●「生きる」と、死ぬこと

生きている皆さん、私達は皆、平等に必ずいつか死を迎えることになつております。ところが死は意識上なく、あたかも死ぬことのない者の様に暮らし、ましてや“生きていくこと”さえ（本当は

ですから今回のテーマ、『死を知り、死を考えることによって、生きにくのは難しいのですが、それよりどんな道でもいいからゴールに行く良く生きる』と、少しだけ近づいてくれればと考えていました。

ういう判決を下した。死ぬ事は何の解決でもない。今生きているのだから一番大切な希望を捨てずに生きるべきだ。ひとりしか存在しない大切な人間だから……。気が付けば、勝手にゴールを見つけていたのです。

最後になりましたが、今回指導司祭を簡単に引き受けて下さった  
村上真理雄神父様、お陰様で終始  
あたたかい雰囲気で、かつつけじめ  
のある三日間になりました。感謝  
しております。

死について学ぶ

うか？ また、何故なのでしょうか？ 一度身の周りを思い起こしてみて下さい。いかに死がないか

●希望を持って生きること

### ●気づく」と、発見する」と●

さて私の直接担当した高校生について少し御紹介しましょう。先ず死についてどう考えているのでしょうか。ほとんどの人が自分の死について考えた事がないようですが、次にもし自分が間もなく死ぬとしたら落ちついてゆっくりしたり、友達や家族と話がしたいと

練成会が終わって帰りの電車の中である子がこう言ってくれました。「練成会には先輩とか後輩とかそんなのがない、思った事が言える場所なんだ」と。大切にしたかったこの場所を、何でも言える空気を、それがゴールを見出した要因に違いないから。

ふろに入りたい”というのは新鮮な驚きでした。基本的な質問の後、自由に話し合つてもらうと、どうやら「自殺」について関心を持つている様だったので、架空の自殺事件を設定し、各々の意見に関係なく自殺者弁護チームと自殺者批判チームに分けて模擬裁判を企画し、各チーム長時間の討議の末、

テーマで内容ある練成会を目標に、まじめに、ざっくりばらんに考え、祈り、次の世代の教会を担う者として、教会の中で、社会の中で、自分の役割に気付き、自分の使徒職を見つけるきっかけを創っていくと県教会学校教師会を中心にして、努力して来ましたが、県連合会、準備委員会等の多くの人の協力や

いざ開廷、自殺の是非、自殺以外の解決法の有無、自殺しても救われるのか、自殺者の心について激論が交わされ、その結果彼等はこう。祈りが、大きな助けとなりました。また今後も続くであろうこの活動に皆様お祈りいただければ幸いで

ういう判決を下した。死ぬ事は何の解決でもない。今生きているのだから一番大切な希望を捨てずに生きるべきだ。ひとりしか存在しない大切な人間だから……。気が付けば、勝手にゴールを見つけて最後になりましたが、今回指導司祭を簡単に引き受けて下さった村上真理雄神父様、お陰様で終始あたたかい雰囲気で、かつかけじめのある三日間になりました。感謝しております。

## 信徒使徒職養成コース

### 養成コースとは

最近はこの紙面をかりて度々、信徒使徒職養成コースについて紹介して参りました。今回は各コースのねらいについて紹介させていただきます。

先ず初めに信徒使徒職養成コースの第一回は一九八〇年に実施され以来、今年の最後のコミュニケーションコースで一〇〇回目を迎えました。十四年間で一〇〇回のコースを実施出来たことは、司教始め、司祭の皆様、信徒の皆様の宣教への熱意と、物心両面に亘る多大なご援助のお陰と感謝しています。

洗礼によって与えられた宣教の使命は司祭と信徒の連携を保ちながら、それぞれの役割を把握し、与えられたカリスマを用いて、人々の救いのために奉仕していくことだと思います。司祭の不足によつて信徒の協力が必要となつたのでなく、キリストご自身が多くの方達と共にその使命を生きて行かれただけでいると思います。

学習や、研修に与ることは、人を指導するためではなく、人々の大切な役割をキリストからいた

よりよく仕えるためであり、能力や、時間、健康に恵まれた人だけが宣教するのではなく、どんな状況下にあっても、その使命を生き果たして行くことを具体的に学ぶことが養成コースの大きな目的です。

### 基礎コース

共同体の基礎となるコミュニケーショーンの訓練、信徒が自分に与えられたカリスマを自覚し、宣教の責任を分担する熱意を育て、自信をつけること。信仰共同体の意味を理解し、自分のカリスマをその中に位置づけ、それを通して共同体や地域社会の福音化のために奉仕することを学ぶ。今後のコースの手がかりを学ぶ。

### 典礼コース

典礼の総合的な理解を深める中で、典礼と日常生活がより密着したものとなり、主体的に参加できるよう、ミサの構造、ミサの歴史、典礼の役割について学ぶ。生きた典礼となるために聖歌の選び方、歌い方、朗読について学ぶ。教会の祈りの相応して唱え方にについて学びと実習。

### 病人司牧コース

病人訪問、病人の精神的世話の心構えや、病人の心理について学ぶ。コミュニケーションと自分自身の

身を知る訓練。病者も福音的位置づけ。

### 祈りのコース

種々の祈りの体験。自分に聞き神に聴く体験をしながら、信仰に基づいた生活が出来るよう祈りの時を持つ。祈りに支えられる共同体作りのために信仰の分から合いをする。

### コミュニケーションコース

自己の成長と正しい人間関係についての学びと訓練。

以上のコースは講義と体験を組み入れた学習で、一日の終わりにはハッピーアワーを設け、自由な分かち合いによって一日の学習が

### △94年度の報告▽

コース名	会場	参加人数	時期
祈りのコースⅠ	ノートルダム祈りの家	一四名	四月
祈りのコースⅡ	ウィチタ本部修道院	六名	五月
病人司牧コース	売布默想の家	二六名	五月
基礎コース	奈良野外礼拝センター	三六名	五月
基礎コース	京都北部野田川町	一三名	六月
典礼コース	三重宗館	二二名	六月
典礼コース	西院カトリック会館	二二名	六月
コミュニケーションコース			六月
△95年度の予定▽			
会場			
時期			
会場	津研宗館 奈良野外礼拝センター 売布默想の家 ノートルダム祈りの家	四月二十一日(金)～二十三日(日) 五月十二日(金)～十四日(日) 六月～七月予定 七月七日(金)～九日(日)	四月 五月 六月 七月 八月 九月
会場	京都北部	八月～九月予定	八月
会場	ノートルダム祈りの家	十一月十日(金)～十二日(日)	十一月

更に深まり小教区を越えた信仰共同体の成長を促す有意義で楽しい一時をもつて終ります。  
\*

今年も教区内外（京都・名古屋・大阪・東京教区）から参加して下さい、特に京都教区からの参加が増えたことはうれしいことです。また参加された方から、小教区の中で特別聖体奉仕や、病人訪問などにお役に立ったお知らせを受けて大きな励みと支えを感じております。今後も皆様とともに、より豊かで多くの方が参加やすいコースに育てて行きたいと思いますので、ご指導とご協力をお願い致します。

# 奈良ウォーカソン

西大和教会  
Min Min

## 西院カトリック会館行事

問合せ・075-822-7123

福音センター

▽国本神父の音楽講座

▽柳本神父の雑学講座

▽中川師の聖書講座(創世記)

▽おでんとさんの会

▽河原町カトリック会館行事(未記載は6階ホール)

▽カナの会結婚相談室

▽Srドローレスの聖書講座

▽一万匹の蟻

▽宣教司牧評事務局会議

▽手話教室(第2は休み)

▽10時半~12時

▽16日10時半~12時

▽11日13時半~15時

▽16日19時~

▽16日10時半~12時

▽11日19時~

▽16日19時~

▽16日19時~

▽16日19時~

▽16日19時~

▽16日19時~

▽16日19時~

▽16日19時~

▽16日19時~

▽16日19時~

13時~16時半 お茶代百円

Srアスンタの書道教室 每週金曜日14時~16時 月謝二千円

カトリック聴覚障害者の会手話教室 火曜クラス10時半~12時

木曜クラス 聖書研究と手話の勉強19時半~

▽13時~16時半 お茶代百円

奈良県では毎年九月二十三日にウォーカソンを行います。九年前から参加してきた者として、思い出とともに感想を書かせていただきます。

参加はじめたころは、私はまだ初々しい大学生で、コピーをとつたり文具を買いにいったり、とても楽しいものがありました。そのころは、私の頭の中には、ただ「大きな楽しい青年の集いだ」とだけしかありませんでした。

二回目、三回目になると、やつとこのウォーカソンは、「お祭りではなくて、募金活動なんだ!」ということに少し気付かされました。そして、私の心中に、ちょっとずつ違う世界への目を向けさせることになりました。四回目以降は私もかなり企画に頭をつっこむようになり、集められたお金の送り先を決めたりすることにも意見を出すようになっていました。

そのころからです、私に一つの疑問が出てきたのは!!

「なぜ、毎年参加人数が減つているのか?」

理由はいっぱいあるでしょうが、

何よりも企画を立てている私たちが、事務的にこなしてしまってい、ということです。きっと心のどこかで、「ウォーカソンをやりたい」が、「しなければならない」に変わっていたのだと思います。二年ぐらいためよう」と言う声がでるくらいになっていました。

そんなおり、私よりもずっと若い世代が、今年もう一度青年だけでやろうじゃないかと言ってくれました。とてもれしかったです。でも、これで僕はしばらくウォーカソンからは遠ざかるべきだと思いました。特に企画には一切口出ししないように心がけました。

だいぶん苦労したみたいでしたのが、今までない参加証の配り方や勉強会の仕方が出来きました。みんな本当に良く頑張ったと思いません。だけど、今回もかなり個人の負担が大きかつたみたいで結局は来年から青年以外の方の力を借りることになりました。来年は少しはウォーカソンに参加して燃えでみようと思っています。みんなも参加しに来てください。

▽信睦二金会 9日 西陣教会  
▽糠みその会 8日 九条教会  
▽子羊会クリスマスパーティー  
11日  
23日 18時~ 伏見大手筋商店街

▽京都JOC(働く人の家)の行事クリスマスパーティー  
3日 20時~ '95ハッピーニューイヤー・イン・びわ湖――この一杯の為に生きてるんや――  
31日~

教区スケジュール

1日(木)司祭評議会(河原町会館)  
1日(木)教区内男女管区長会議

4日(日)白柳大司教枢機卿就任式  
田中司教出席(東京)  
5~6日ザビエル・サミット、田中司教参加(鹿児島)

26日(月)京都南部及び教区司祭会  
例会(河原町会館)

25日(日)クリスマスミサ

マス深夜ミサ

24日(土)市民クリスマス・クリスマスミサ

17~18日青年センター運営委員会

9日(金)司教顧問会(河原町会館)

10~11日宣教司牧評議会(河原町)

13~16日司教会議(東京)

26  
27  
京都教区中学生会合宿  
27  
日京都教区高校生会合宿  
(大津教会)

お  
知  
ら  
せ

▽1月1日より電話番号変更

青谷聖家族幼稚園	0 7 7 4 5 2 0 1 1 6	対象・信徒、修道者、司祭
聖愛幼稚園	0 7 7 4 6 2 0 3 0 0	費用・三万五千円
精華教会	0 7 7 4 6 3 5 5 0 6	問合せ・研修センター
精華聖マリア幼稚園	0 7 7 4 9 4 2 0 5 9	○京都北部地区の行事
右に同じ		△ 晓星女子高等学校クリスマス
聖母カステキスタ会さくらヶ丘	0 7 7 4 7 3 0 9 3 8	日時・24日13時半～16時半
聖母カステキスタ会ハイム	0 7 7 4 9 3 3 3 9 5	場所・宮津会館
老人ホーム神の園	0 7 7 4 9 4 4 1 2 5	プログラム・シスター渡部和子
△部落問題委員会学習会	EX 0 7 7 4 9 3 2 3 0 5	の講演会「クリスマスの心」、
テーマ・パレスチナから部落差		み言葉の祭儀、タブロ（クリス
別を見る—砂漠の都市から帰つ		マス無言劇）
て—		▽ 黙想会 3日19時半～21時
日時・17日（土）19時～21時		4日10時～16時
場所・河原町会館6階		指導・小池師 西舞鶴教会
お話・太田勝さん（福音の小さ		◎ 三重地区の行事
い兄弟会）		△ 中学生エンカウンター
▽ 特別聖体奉仕者養成コース		日時・27日16時～29日18時
内容・信徒による聖体授与の実		場所・研宗館
際	金	指導者・シャクソン師
日時・1月12～16日	2～4日 奈良教会	費用・六千円
▽ 奈良少年刑務所クリスマス		申込・津教会
▽ ボランティア養成基礎講座第7		△ バザー 4日 四日市教会
回「身障児者」とボランティア」		◎ 奈良地区の行事
		△ 仏教徒キリスト教徒合同街頭募

あなたの良き隣人として  
カトリック御葬儀  
貸物一式(仮式可)

聖ヨゼフ葬曲社

パウロ 杉下安雄  
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23  
☎ (075)312-7829

10月（第203）号の五円ラ  
チキヤンペーンの振替の番号  
違つて いました。ここに訂正し  
お詫び致します。